

1107

~~255~~ 「準順序環及ヒソノ應用ニツイテ」ノ  
訂正及ヒ補足

吉田 耕作, 中山 正(名大)

談話 1072 / 証明中代数的な部分 / 方 = 誤りが  
アリマシタ / ガ補正サセテイタジキマス。ソコ / 補題,  
*normal* + 部分群、*zulässig* ガアレ云々ハ正元ガ  
生成サレタ *normal* 部分群ニツイテ / ミ云フベキデ  
シタ。從ツテ以下ノ様ニヤリナホシマス。

以下ハモトモト / *Vernikoff-Krein-Torbin*  
ノモト / 大体同ジニナツテシマツテキル / ラスガ、唯兼法ノ

結合律が (可換律ト同様 =), 更ニ環ナルコトが假  
レナイデモヨイコト等ノ注意トシテデモ受取ツテ頂キタイ  
思ヒマス。

更ニ実数ヲ係数トシテオカナイデモヨイコトモ注意シタ  
イト思ヒマス。

$G$  ヲ準順序加法群;  $x \geq 0, y \geq 0$  +ラ  $x+y \geq 0$ ;  
 $x \geq 0, -x \geq 0$  +ラ  $x=0$ , トスル。而シテ最初ハ實数  
ヲ係数ニシテ

$$x \geq 0, \text{實数 } \alpha \geq 0 \text{ +ラ } \alpha x \geq 0$$

トスル。

更ニ  $G$  ハ第二ノ準順序群  $\Lambda$  ヲ作用域トシテ有シ,  $A, B \in \Lambda =$  對シ

$$x \geq 0, A \geq 0 \text{ +ラ } Ax \geq 0;$$

$$(A+B)x = Ax + Bx, A(x+y) = Ax + Ay,$$

トシ, 更ニ  $\Lambda$  ハあるきめです單位  $I$  ヲ有シ, 而シテ  $I$  ハ恒  
等作用素:  $Ix = x$  トスル (前談話ノ条件  $A^*$ )

然ラバ

補題.  $G$  ノ正元ノアル集合ヲ生成サレタ *normal*  
部分群ハ常ニ  $\Lambda =$  對シ *allowable* デアル。 (証明ハ  
前談話ノガコノ場合+ラ適用サレル)

次ニ  $G$  自身があるきめです單位  $e$  ヲ有スルトシ, 而シテ (前  
談話ニオケルト同シ番号ヲ)

$$\text{條件 } B: \quad +e < nx < e \quad (n=1, 2, \dots) \text{ +ラ } x=0$$

デアルトスル (コノ條件が満タサレテキトキハ  $G$  ノ  
 $radical$  (スベテノ  $n = 對シテ  $-e < nx < e + 1$  元  
 $x$  ノ 全体ノ + 部分群) デ割レバ  $factor group$   
ハ條件Bヲ充ス。  $radical$  ハ  $normal$  且ツ  $allow-$   
 $able$  + コト容易ニ知ラレ)$

扱テ、今

$$\text{「任意ノ } \varepsilon > 0 \text{ 對シテ } x > -\varepsilon e \text{」}$$

ヲ充スヤウナ元ノ 全体  $Q$  ヲ考ヘル。然ラバ  $x \geq 0 + 1$   
 $x$  ハ  $Q =$  属スルコト明カ。更ニ  $Q$  ハ加法ヲ開ケテキルコ  
トモ明カ。

マタ  $x \in -x \in Q =$  属スルヲ  $x = 0$  デアル。何  
者、  $x > -\varepsilon e, -x > -\varepsilon e$  即チ

$$\varepsilon e > x > -\varepsilon e$$

ガスベテノ  $\varepsilon > 0 =$  成立ツカラデアル。次ニマタ  $Q$  ハ  
 $A \geq 0 + 1$   $A =$  對シテ閉ケテキル。即チ  $x \in Q, A \geq 0$   
 $(\in \Omega)$  + ラバ  $Ax \in Q$  デアル。  $\forall m \geq 1$   $mI \geq A$  従  
テ  $me \geq Ae + 1$   $m$  ヲトレバ、

$$x > -\varepsilon e, Ax > -\varepsilon Ae \geq -m\varepsilon e$$

ガ任意ノ  $\varepsilon > 0 =$  成立ツ故  $Ax \in Q$  デアル。

然ルニコレヲハ、我々ノ  $G$  一新タニツノ 準順序ヲ定  
義シテ、  $\forall$  準順序デハ  $Q$  が  $0$  又ハ正ナル元ノ 全体ニ  
テ居リ、而シテ  $G$  準順序群 [算法ガ順序  
ヲ保ツ] デアリ、  $A \geq 0$  ハ順序ヲ保ツ作用素ニ  
ナツテキル事

ヲ示シテキル。原順序デ正ト元ハ新順序デモ正デアル。

而シテ、 $\mathcal{Q}$ ノ構成カラ容易ニ知ラレル如ク、コノ新シイ  
順序ニ對シテハ、任意ノ  $\varepsilon > 0$  = 對シテ  $x > -\varepsilon e + \varepsilon x \geq 0$ ,

撰言スレバ

條件 C.  $n x < e (n=1, 2, \dots)$  + ラバ  $x \leq 0$

ガ成立ツテキル。ソコデ今  $G$ ノ元  $x$  = 對シ

$$\alpha(x) = \inf \{ \alpha \mid \alpha e > x \}$$

トオク (コノ  $x >$  ハ原、新ドチラノ準順序ノ意味トシ  
テモ同一デアル)。

然ラバ直チ  $\alpha(x)e - x \in \mathcal{Q}$ 、 $x$  + ハチ新順序ノ  
意味デ

$$\alpha(x)e - x \geq 0$$

デアル。ソコデ  $\alpha(x)e - x$  デ生成サレタ (新順序ノ意味  
ノ) normal 部分群ヲ考ヘレバ、我々ノ補題ニヨリ  $\mathcal{Q}$   
ニ對シテ allowable デアル。而シテコノ normal +  
allowable + 部分群ヲ module トシテ  $\alpha(x)e \equiv x$   
デアル。キホ、コノ = normal ト云フタノハ新順序ノ意  
味ヲ言フタリデアルガ、新順序デ normal + ラ當然原  
順序デモサウデアアル。

扱テ、再ビモトノ意味ノ單ニ條件 B ノノミタス  $G$  =  
モドル。然ラバ上記ノ考察ハコノ  $G$  = 對シテノコトヲ示  
ス。

第一ニ、 $G$ ノ任意ノ元  $x$  ハ適當 + allowable

normal 部分群ヲ moduls トシテ, 従ッテ適當ト  
 Maximal + allowable normal 部分群ヲ  
 moduls トシテ,  $e$ ノ実数係  $d(x)e = \text{合同} = +e$ .

第二一, スベテ  $\max + allowable normal$   
 部分群ノ 共通部分ハ ( $d(x) \in d(-x) \in 0 + e$  元, 即  
 チ条件 B カラワカレヌ)  $0$  ノ ミヨリナル。

第三二,  $G$ ノ  $\max + allowable normal$  部  
 分群 = ヨル 剰餘群ハ 實数ノ 加法群ト 同型ナル。カクテ  
 $G$ ハ  $\max. allowable normal$  部分群ノ 上ノ  
 空間ノ 上ノ 実函数ノ 或ル 加法群 = (作目) 同型ナル、順序  
 ハ  $\rightarrow$  方向ニ 保タレ。更ニ  $e \in \mathbb{R}$ 。条件 C ガ 成立ツテ キレ  
 ン、順序ガ 両方向ニ 保タレ、コノ 同型ハ 順序ヲ フクメテ 同型  
 ナル (何者、 $x \neq 0 + e$  ヲ  $d(x) > 0$  ナカラデアル)

扱テ、実数ヲ 係数ニ モテ + 場合ヲ 考察シヨウ。又  
 条件 (5) 或ル 自然数  $m = \text{對シ } mx \geq 0 + e, x \geq 0$   
 トスル。コノ トキハ 先ヅ 有理数ヲ 係数ト スレヌウ =  $G$ ヲ  
 拡張出来ルコトハ 容易ニ 知ラレル。(例ハバ 小笠原氏、談話  
 1011 ト同様) 而シテ 後コノ 拡張ナラバ  $G = \text{於テ}$  (ソコニ 条件  
 B ガ 成立ツテ キル)

$$\|x\| = \inf (d| - de (x < de))$$

トオイテ  $\text{norm}$  ヲ ヱケ、コノ  $\text{norm}$  ノ 意味ガ complete  
 = スレバ、コノ 拡張ナラバ 群ニハ 實数ガ 係数ト ナル。作目  
 圖ニ コノ = マダ 拡張出来ル。ヨツテ 上記ガ 適用ナレル。

アテ實數がカケラレナイ場合モ(9)ノ下ニ同様ニナル。

更ニ環ヘノ移行モ明ラカデアイル。即チ準順序環デ(9)及ビ条件Bヲミタスモハ、或ル空間ノ實數函數ノ或ル環ニ同型ニナリ、順序モ $\rightarrow$ ノ向キニハ保タレル(特ニ結合的且ツ可換トナル)。条件Cガアレバ順序ヲフクメテ同型ニナル。

—— (以上) ——